

令和7年（2025年）2月17日

## 質問書に対する回答書

熊本市政策局東京事務所

委託業務名 首都圏プロモーション業務委託

令和7年(2025年)2月14日に提出のあった質問について、以下のとおり回答します。

番号	質問	回答
1	仕様書5.(1)①令和7年度に開催される(仮)熊本フェアの内容を教えてくださいませんか。	本市農水局において、スイカやメロンが旬を迎える春(5~6月)に首都圏の飲食店等を活用した農産物のプロモーションを行う予定です。詳細は調整中です。
2	令和6年度も同様の(仮)熊本フェアを行っていますが、その際の課題を教えてくださいませんか。	R6(2024)年度の「春スイカまつり」では、インスタライブの開催やPRTIMESへの投稿等を行いましたが、課題としては、熊本の魅力を広く伝えるため、更にメディア等への掲載数を増やすとともに、多くの方にリーチさせることです。
3	令和6年度でのメディア掲載数を教えてくださいませんか。	R6(2024)年度のメディア掲載数は延べ6媒体です。 なお、R5年度はインフルエンサーによる発信を含め、延べ562媒体です。
4	令和6年度でのTB096のフォロワー増加数は何名になりますでしょうか。	R6(2024)年度のSNS(Instagram、Facebook)フォロワー数はR7(2025)年1月末時点で、448人の増加になります。 なお、R5(2023)年度のSNSフォロワーは2,374人増加しました。
5	仕様書5.(3)本市と縁のある区などと連携したプロモーションについて、昨年度の成果と課題を教えてくださいませんか。	成果として、R6(2024)年度は、イベントへのブース出展等を通じて10回PRを行いました。課題は、イベントやPRに対応するマンパワーの不足で、より効果が見込まれる新たな取組をできなかったことです。
6	熊本市親善大使について、企画の実行可能かを確認するために、直接連絡をとってもよろしいでしょうか。	熊本市親善大使のキャスティングについて、候補者決定後、市と協議の上で決定となりますので、直接の連絡はお控えください。
7	令和6年度実施の首都圏プロモーションにおきましての、	R6(2024)年度のメディア掲載数とイベント集客数について、次のとおり回答します。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア掲載数</li> <li>・イベント（春すいかまつり）集客数 をご教示いただけますでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メディア掲載数：6 媒体</li> </ul> <p>なお、R5 年度は 562 媒体です（転載やインフルエンサーによる発信等を含む）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント集客数（春すいかまつり） 飲食店での提供数：1,113</li> </ul>
8	<p>「TOKYO BASE 096」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Instagram のフォロワー数</li> <li>・会員数</li> </ul> <p>の直近数年間の推移をご教示いただけますでしょうか。</p>	<p>「TOKYO BASE 096」の Instagram フォロワー数と会員数の推移について、次のとおり回答します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Instagram フォロワー数 (R2 (2020 年) 8 月にアカウント設立)</li> <li>R2 (2020) 年度 390 人</li> <li>R3 (2021) 年度 680 人</li> <li>R4 (2022) 年度 831 人</li> <li>R5 (2023) 年度 3,179 人</li> <li>R6 (2024) 年度 3,640 人 (R7 (2025) .1 月末時点)</li> <li>・会員数 (R2 (2020) 年 2 月に設立)</li> <li>R2 (2020) 年度 150 人</li> <li>R3 (2021) 年度 309 人</li> <li>R4 (2022) 年度 358 人</li> <li>R5 (2023) 年度 463 人</li> <li>R6 (2024) 年度 453 人 (R7 (2025) .1 月末時点)</li> </ul> <p>※会員数は、R6 (2024) 年 7 月に会員登録システムを変更し、会員情報の引継ぎができなかったため、R5 (2023) 年度末と比べて一時的に減少</p> <p>※R2 (2020) 年度の設立から R5 (2023) 年度までは、平均して年間 115 人程度増加</p>